



UiPath 製品の 後方互換性ポリシーについて

2020年3月
UiPath 株式会社

目次

- UiPath製品の後方互換性ポリシー
- バージョンアップで発生する可能性のある問題
- 問題の詳細と、v2018.3 での問題の解決
- まとめ



UiPath製品の後方互換性ポリシー

弊社製品は、後方互換性を壊さないように開発を行っておりますが、製品の技術的な背景に起因して、製品バージョンアップ後に既存ワークフローの動作に影響が発生する場合があります。

このポリシーを守るためにUiPath製品チームが実施していること:

- 各リリースにおいて後方互換性を担保すべく十分なテストを実施
- 問題が発見された場合は、問題を解決した上でリリースを実施
- リリース前に検出できた互換性の問題点についてはリリースノートに記載
- リリース後に問題が発見された場合は、マイナーバージョンアップで速やかに対応

* 以前の製品バージョンでは、このポリシーを完全に守ることが困難な技術的背景がありましたが、製品の新機能により改善されました。本文書では、この内容について説明します。



バージョンアップで発生する可能性のある問題

発生する可能性のある問題の分類

弊社製品バージョンアップ時に発生する問題の種類は二つあります。その多くは下記 1.の原因により発生していましたが、v2018.3 以降では発生しないことが期待されます。

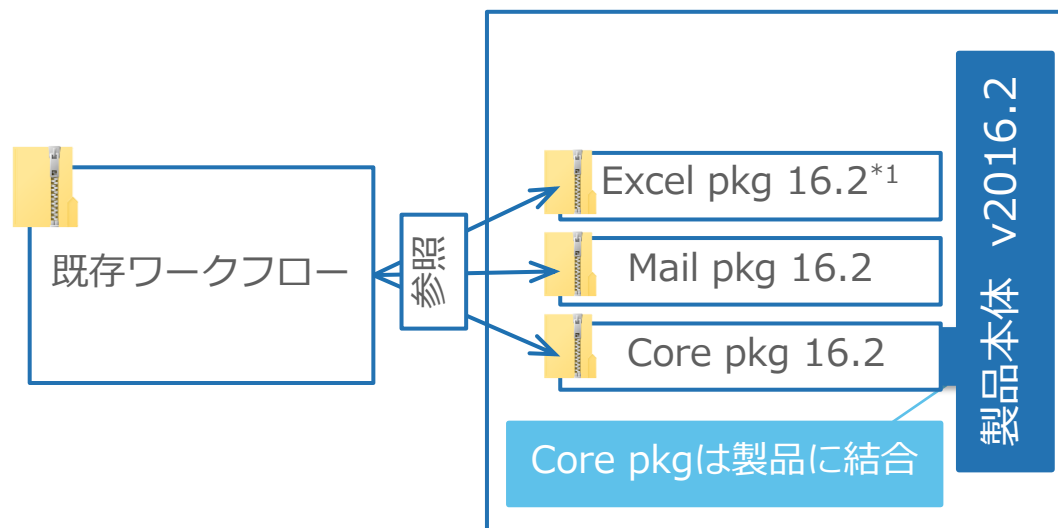
	発生理由	問題発生リスク		事象の例
		v2018.2 以前	v2018.3 以降	
1	参照するアクティビティのバージョンが変わる	高	低	<ul style="list-style-type: none">ワークフロー実行異常終了ワークフロー実行挙動変化
2	その他の理由	低	低	<ul style="list-style-type: none">Studioでワークフローを開けない



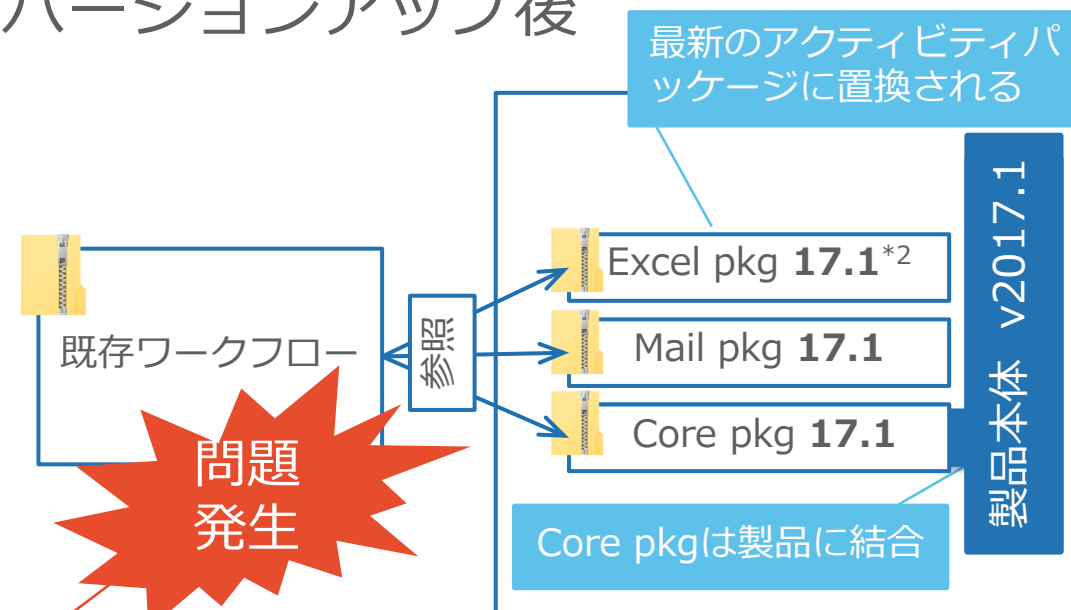
問題の詳細と、v2018.3 での問題の解決

製品バージョンアップ前後で、ワークフロー実行時に参照するアクティビティパッケージのバージョンが異なり、動作が異なる場合で問題が発生します。

バージョンアップ前



バージョンアップ後



問題: ワークフロー実行時に参照するパッケージが異なるため、以前と同じ動作ができなくなる場合がある

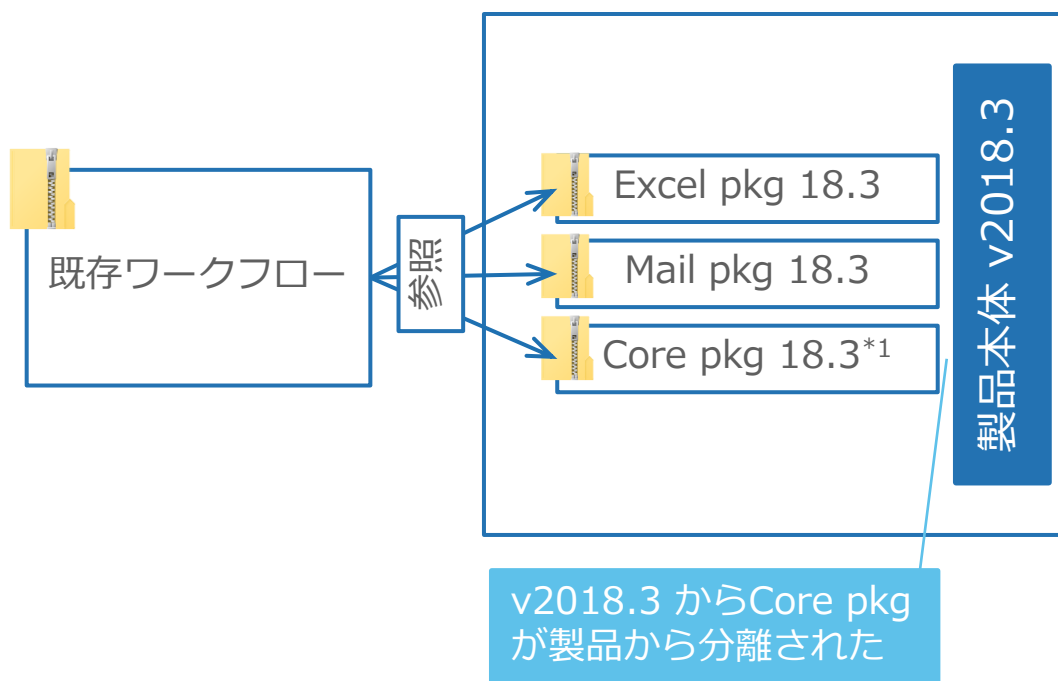
*1 pkgのバージョン番号は、便宜上製品本体と類似の番号を記載しています。実際は、製品バージョン番号に依存しない固有の番号です。

*2 Core 以外の pkg については、古いアクティビティパッケージを使い続ける (新しいパッケージをインストールしない) 事で、問題を回避する事は可能でした。 8

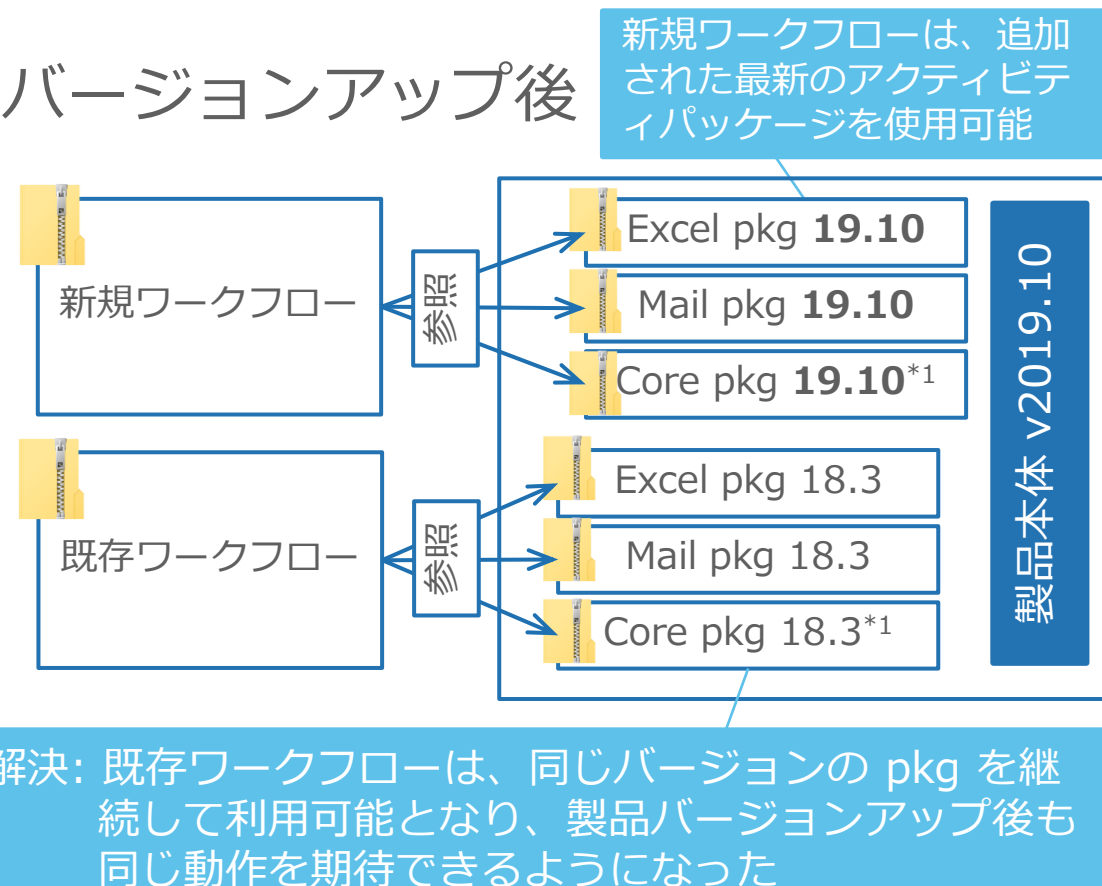
新機能による、問題の解決

この問題は、v2018.3で導入された新機能により解決します。この機能は日本のお客様からのフィードバックにより実現しました。

バージョンアップ前



バージョンアップ後



*1 : v2018.3 からは Core pkg が製品から分離されたため、任意のバージョンの Core が利用可能になりました。



まとめ

v2018.2 以前の製品では、バージョンアップにより既存ワークフローの実行結果が変わる可能性があります。新規機能導入により v2018.3 以降からのバージョンアップでは、アクティビティパッケージの差異に起因する問題が発生しなくなる事が期待されます。

アクティビティパッケージの差異に起因する問題の発生リスク

製品バージョン		障害発生リスク	参照アクティビティパッケージ	
バージョンアップ前	バージョンアップ後		Core	Core以外
v2018.2 以前	v2018.2 以前	大	変わる	変わる
v2018.2 以前	v2018.3 以降	中	変わる	変わらない
v2018.3 以降	v2018.3 以降	小	変わらない	変わらない



Thank you!